

赤ちゃんとお母さんに寄り添った看護を提供します



- ◆ 勤務病棟 : 4階東病棟 (MFICU・産科)
- ◆ 職種 : 助産師 (3年目)
- ◆ 出身校 : 岐阜県立看護大学

Q1 あなたが岐阜県総合医療センターを就職先に選んだ理由を教えてください。

私が当院を就職先に選んだ理由は、高度な医療技術を提供している病院での助産ケアを学びたいと思ったからです。当院は、総合周産期母子医療センターとしての役割を担っており、県内でも特に重症な患者さんが多く入院されています。そのため、赤ちゃんやお母さんの急変により、緊急の対応が必要になることも多くあります。また、妊娠出産期間における疾患やハイリスクである患者さんは、大きな不安を抱えながら過ごしています。緊急時にも対応でき、かつ大きな不安を抱える患者さんに寄り添える助産師になりたいと思い、当院への就職を決めました。

Q2 当センターで働く中で、あなたが成長できたと実感したエピソードを教えてください。

新人の頃は覚えることも多く、業務を行うことに精一杯で患者さんの思いに耳を傾けることが出来ていませんでした。少しずつ仕事に慣れ、患者さんと関わる時間を持てるようになったことで、ニーズを捉えた対応ができるようになりました。また、退院後、お母さんと赤ちゃんが地域で生活していくことが出来るかを考えた情報収集や、必要時には地域と連携するなど、先を見据えた対応もできるようになりました。

Q3 あなたが今、看護実践に限らず頑張っていること、興味を持っていることについて教えてください。

当院はBFH病院に認定されており、赤ちゃんとお母さんにやさしい母乳育児を推奨しています。産後のホルモンの変化に伴い、入院期間中に母乳の状態は目まぐるしく変化します。母子にとって一番良い母乳育児の方法を考える際に、自分の知識不足やアセスメント不足を実感します。毎日のカンファレンスで先輩方からの助言を頂き、少しずつ引き出しは増えてきましたが、今後は研修などにも積極的に参加し、根拠を持ってケアを提供できるようにしたいです。